MITSUBISHI

9410R588HF5903

業務用エアーカーテン

GK-25形
GK-30形
取付・取扱説明書

もくじ

ページ

1. 外形寸法図 ……1
2. 必ずお守りください ……2
3. 取付方法 ……3～6
4. 試運転 ……6
5. 使用方法 ……6
6. お手入れのしかた ……7
7. 仕　様 ……8
8. アフターサービス ……8

このたびは三菱エアーカーテンをお買い求めいただき誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくためにこの取付・取扱説明書をよくお読みください。

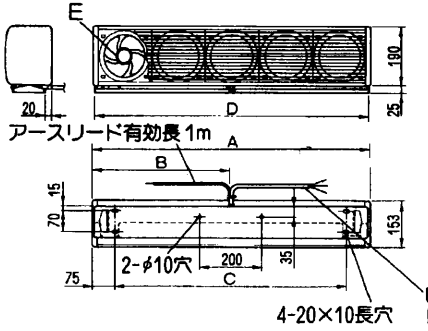
なお、この説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役にたちます。

■取付工事は専門の工事店さまで実施してください。

●この製品には単相製品と三相製品があります。電源を確認して取付工事をしてください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

1. 外形寸法図



変化寸法表　　単位(mm)

形　名	A	B	C	D	追加調整E	F
GK-2506YS	600	300	450	570	3	3
GK-2509YS	900	450	750	870	5	3
GK-2512AS	1194	597	1044	1164	6	3
GK-3006YS	600	300	450	570	3	3
GK-3009AS	900	450	750	870	5	3
GK-3012AS	1194	597	1044	1164	6	3
GK-3006YT	600	300	450	570	3	4
GK-3009AT	900	450	750	870	5	4
GK-3012BT	1194	597	1044	1164	6	4

付属部品

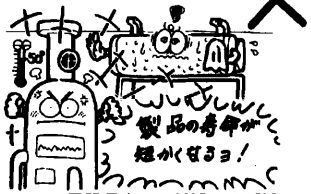
壁取付板……1個
ワッシャー…各5個(大・小)
木ネジ……5本
スプリングワッシャー……5個
ナット(M8)…5個

2. 必ずお守りください

取付場所や取付けが悪いと故障または事故の原因になります。

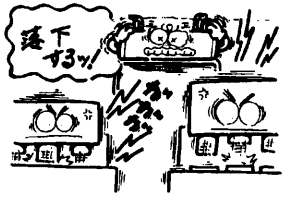
1 雨水のかかる場所 ×

2 高温(低温)になる場所 湿度の高い場所 ×

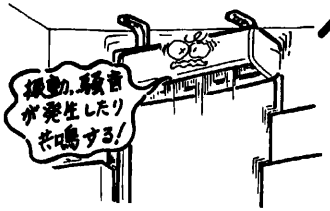


周囲温度　−10℃～+45℃
相対湿度　90%以下

3 弱い天井や壁、振動しやすい場所 ×



4 傾いた取付け、不十分な取付け ×



5 特殊環境

- 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- 爆発性の粉じんやガスの発生する場所発生する恐れのある場所
- ほこりや油煙の多い場所
- 氷結する場所

6

- 形名の数字は、標準しゃ断距離と取付幅を示します。(GK-2509YSの場合…しゃ断距離2.5m、取付幅90cm)。エアーカーテンは、カーテン流が弱すぎても、強すぎても効果を発揮できません。取付高さと機種の確認をしてください。
- 店舗、事務所等の出入口などに取付ける場合は、吸込口を室内側に向けて取付けてください。ただし、軒やひさしで雨がかからない場所や雨を吸込まない設置の場合は、室外側でも可能です。また、冷凍庫に取付ける場合は、必ず庫外に取付けてください。
- 配線工事は、専門の電気工事店が実施し、配線系統にモーターブレーカーなどの保護機器を使用してください。(モーターブレーカー等の選定は8ページ仕様の最大負荷電流の1.2～1.5倍を目安にしてください。)
- 取付けが天井埋込みの場合は、必ず保守点検のために天井に点検口(□450mm)を設けてください。

使用の際下記の点にご注意ください。

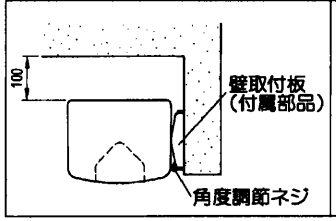
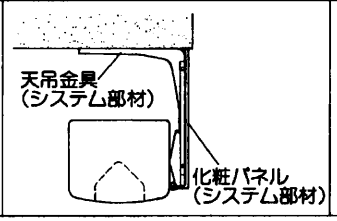
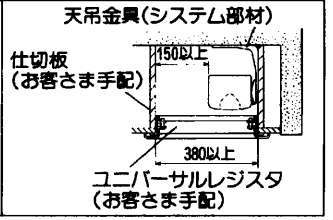
- 停電のときは必ず電源を切ってください。通電後、急に羽根が回り、事故を起こす恐れがあります。
- モーター及び抵抗器には温度の上がり過ぎを防止するため温度過昇防止装置(温度ヒューズ)を内蔵しています。過負荷あるいは拘束運転などの異常時には温度ヒューズが溶断し、通電不可となり再運転できません。
  万一温度ヒューズが溶断した場合は、電源を切り原因を取除いてから、ヒューズが溶断したモーターまたは抵抗器部分を取換える必要があります。また、モーター及び抵抗器の取付部(エアーガイド)に変形やネジなどの異常がある場合は、取付部も取換えてください。
  取換えは専門の工事店へ依頼してください。

3. 取付方法

取付場所・取付面により異なりますが、いずれの場合も十分強度をもたせ、水平に取付けてください。

■取付例

単位(mm)

壁取付けの場合	天井取付けの場合	天井埋込みの場合
		

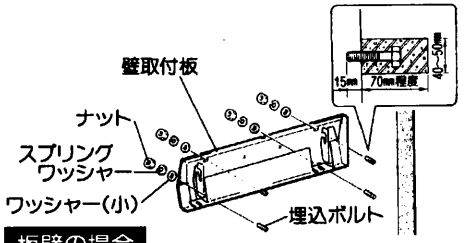
ご注意

- **エアーカーテンの吸込口は必ず100mm以上の空間を設けてください。しゃ断性能が十分発揮されません。**
- **エアーカーテン側面に壁がある場合は、壁取付板を壁から17mm以上あけてください。本体が壁にあたり取付けができません。**
- **連続して取付ける場合は壁取付板の間隔を34mm以上あけてください。**

1 取付前の準備

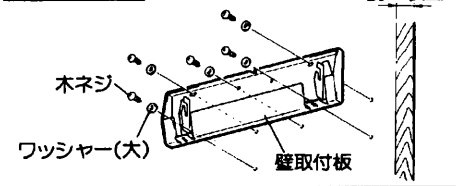
本体下側の突起部に仮止めしてある角度調節ネジ(2本)を外して、本体から壁取付板を取外します。

コンクリート壁・鉄枠・鉄柱の場合



(1)埋込ボルトを壁面から15mm程度出して埋込みます。
(2)壁取付板を付属のワッシャー(小)、スプリングワッシャー及びナットで確実に固定します。

板壁の場合



板厚が20mm以上ある場合は、直接付属の木ネジ及びワッシャー(大)で壁取付板を壁に固定します。

- 板厚が20mm未満の場合は、20mm以上になるよう補強板(お客さま手配)を取付けてください。

天吊金具(システム部材)を使用する場合

天井の材質・構造に合った取付方法で天吊金具を固定します。詳しくは、天吊金具(システム部材)の取付説明書を参照してください。

天井に埋込む場合

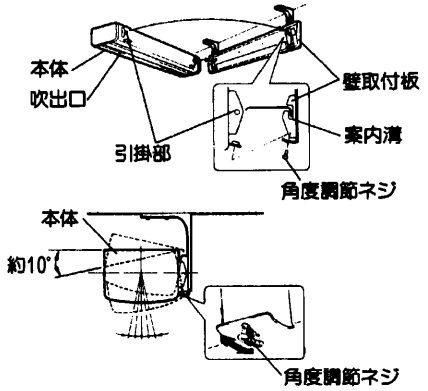
埋込設置する場合は、取付例を参考にしてください。取付方法は壁取付けに準じて取付けます。

- 天井内の汚れた空気を吸い込まないように必ず仕切板を設けてください。長さはエアーカーテンの長さに合わせてください。

縦取付けの場合

この製品は縦取付けも可能です。本体の向きに注意し、壁取付けに準じて取付けます。

2 本体の取付け



(1)本体の引掛部を壁取付板の案内溝に差込み、溝に沿って止まるまで下にさげます。

- 吹出口が少し手前側に向くよう本体を傾むけた状態で差込んでください。

(2)本体の取付角度を決め、外した角度調節ネジ2本で確実に固定します。

- 本体角度は5段階、室内外とも約10°まで調節可能です。
- 真下に吹出す場合は角度調節ネジを中央の位置で固定してください。

ご注意

- **本体のネジ穴と角度調節ネジの角度を合わせて締付けてください。ネジばかになります。**

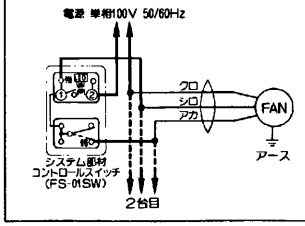
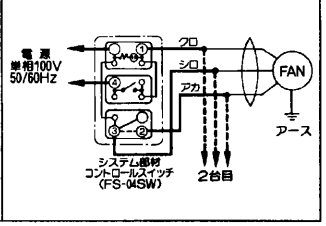
3 電気工事

電気工事は、電気設備技術基準・内線規定に基づき専門の工事店さまが実施してください。
電源コードは3芯ビニールキャブタイヤケーブルが単相100V用、4芯ビニールキャブタイヤケーブルが三相200V用です。電源を確認して接続してください。

■結線図 ……太線部分はお客さまにて0.75mm²以上の電源コードを手配して結線してください。
但しアース線は1.25mm²以上を使用してください。

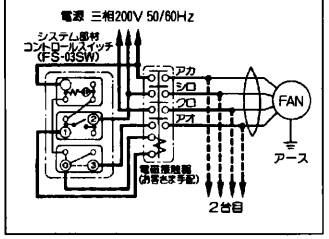
強・弱切換運転の場合

■単相100V

FS-01SWを使用	FS-04SWを使用
	

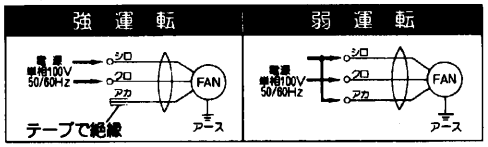
■三相200V

FS-03SWを使用

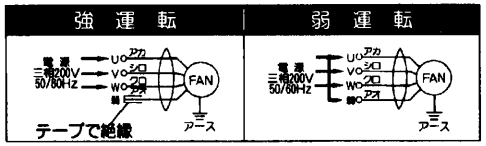


強または弱に固定して運転する場合

■単相100V

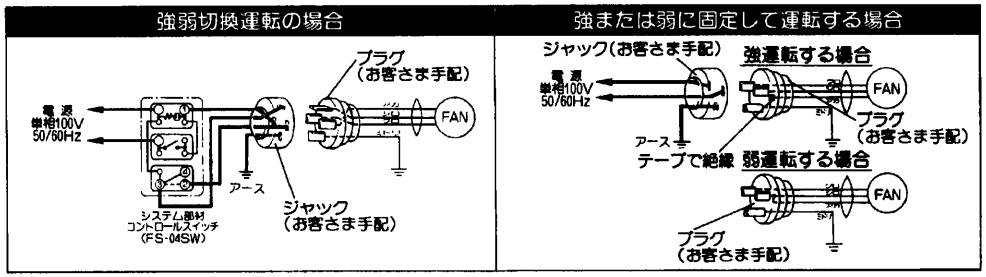


■三相200V



電源プラグ使用例(単相製品)

●電源コードにプラグを取付け、本体近くにコンセントを設けると、清掃・メンテナンス時に本体を取外すことができ便利です。

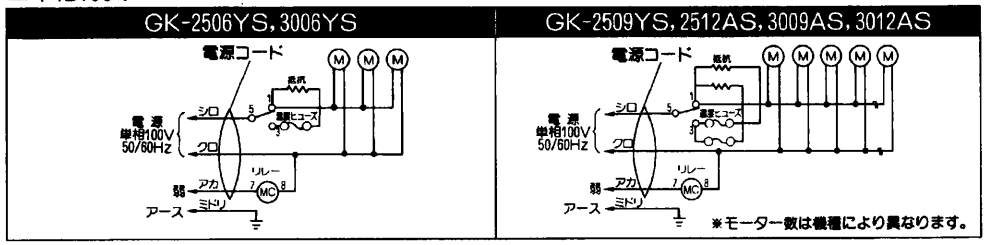


ご注意

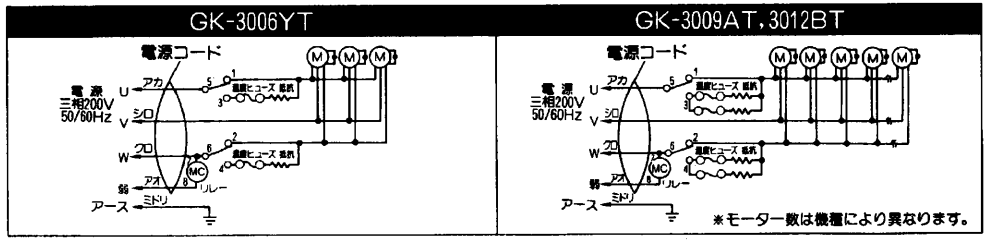
●システム部材のコントロールスイッチで複数台運転される場合はエアーカーテンの起動電流の合計が15A以下になる台数までとしてください。

〈内部結線図……参考〉

■単相100V



■三相200V



3. 取付方法 つづき

ご注意

●三相200V製品は電気設備技術基準により、必ず接地工事(アース)を行ってください。
●モーター焼損保護のためモーターブレーカーなどの保護機器を使用してください。
(モーターブレーカー等の選定にあたっては仕様の欄、8ページの最大負荷電流の1.2~1.5倍を目安にしてください。)
●スイッチの容量選定にあたっては起動電流×設置台数の容量としてください。
また、電磁接触器を操作するスイッチの場合のスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
●単相100Vと三相200Vの製品がありますので電源の間違いがないか確認してください。
間違った電源で運転されますとモーターが焼損します。
●三相200V製品は必ず回転方向を確認してください。電源接続を間違えますと逆回転します。回転方向が逆の場合は3本の電源のうち2本を入換えてください。
●単相100V製品で誤結線されますと本体内のリレーよりブザー音がします。正しい結線をしてください。
●強弱切換運転をする場合はコントロールスイッチ(システム部材)が必要です。

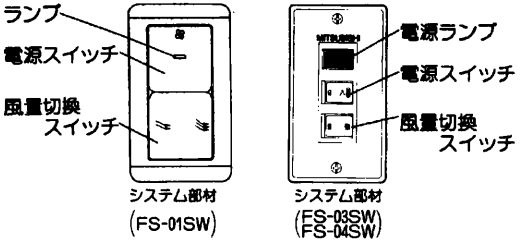
4. 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないか確認してください。

5. 使用方法

操作のしかた

システム部材のコントロールスイッチ(FS-01SW・FS-04SW：単相用, FS-03SW：三相用)または、市販の埋込スイッチで操作します。



■換気するには
(1)電源スイッチの右側を押して「入」にします。
ランプが点灯します。
(2)風量切換スイッチを「強」または「弱」にします。右側を押すと「強」、左側を押すと「弱」になります。お好みの風量でご使用ください。

■止めるには
電源スイッチの左側を押して「切」にします。
ランプが消灯します。

速度調節・角度調節のしかた

外風の影響を受ける場合には次のような速度調節および角度調節を行います。

条　件	調　節　方　法	注　意　事　項
風のない場合	弱運転、吹出方向真下	設置高さと弱運転での標準しや断距離が合っているか確認してください。
一時的に風のある場合	吹出方向真下 風のある場合は強運転、ない場合は弱運転	強運転時、エアーカーテン流の巻き返しに注意してください。
絶えず風のある場合	4ページ　本体の取付けを参照して取付角度を調節し、吹出方向を室外側に向けます。	風が止んだ場合は弱運転または吹出方向を真下にしてください。

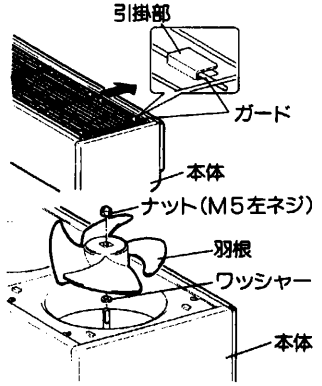
6. お手入れのしかた

エアーカーテンが汚れてきましたら約3か月に1度を目安として清掃してください。
また、夏・冬にご使用の場合は、シーズン前に必ず清掃及び試運転を行ってください。

ご注意

- 必ず電源を切ってから清掃を行ってください。
- 本体にぶらさがったり、強く下に押したりしないでください。故障の原因になります。
- 指などけがをしないようゴム手袋の着用をおすすめします。

各部品の取外しかた



電源プラグが本体近くに設けられている場合は、本体を壁取付板から外して清掃すると便利です。

■ガード

- ガードを図のように壁取付板側にスライドさせて、引掛部から取外します。
(ガードの枚数は機種により異なります。)

■羽根

- 羽根のナット(M5左ネジ)を外し、羽根を引き抜きます。

ご注意

- 羽根とシャフトのはめ込みには方向性がありますのでご注意ください。

エアーカーテンの清掃

■本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

ご注意

- モーターなどの電気部品は、水にぬらさないでください。絶縁不良となり、漏電などの原因となります。
- 市販のアルカリ洗剤などは、塗装をはがすものもありますので使用しないでください。(洗剤をご使用になる前には、必ず洗剤の注意書をよくお確かめください。)
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。
- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなど使用しないでください。色があせたり、つやがなくなります。

お手入れ後の組立てと点検

お手入れが終わりましたら、取外しと逆の順序で組立ててください。
次の点検をしながら組立てをしてください。

1. 本体内部に配線されているコードに傷はありませんか。
2. 本体、ワッシャー、羽根、ナット、ガードが確実に取付けられていますか。
3. 電源を入れエアーカーテンの運転に異常がないか確認してください。

7. 仕　様

形　名	電　源	ノッチ	最大吹出風速(m/s)		騒　音(dB)		質量	起動電流(A)		最大負荷電流(A)	
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	(kg)	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
GK-2506YS	単相100V	強	9.5	9.5	42	42	7.0	0.40	0.43	0.29	0.32
		弱	8.8	8.5	39	39					
GK-2509YS		強	9.5	9.5	44	44	10.5	0.67	0.71	0.48	0.53
		弱	8.8	8.5	41	41					
GK-2512AS		強	9.5	9.5	45	45	13.3	0.80	0.85	0.58	0.63
		弱	8.8	8.5	41	41					
GK-3006YS		強	11	11.5	46	47	7.5	0.59	0.57	0.41	0.46
		弱	9.5	9.3	42	42					
GK-3009AS		強	11	11.5	48	49	11.0	0.98	0.95	0.68	0.76
		弱	9.5	9.3	44	44					
GK-3012AS		強	11	11.5	48.5	49.5	14.0	1.18	1.14	0.82	0.92
		弱	9.5	9.3	45	45					
GK-3006YT	三相200V	強	11	11.5	46	47	7.5	0.39	0.36	0.27	0.26
		弱	9.5	9.3	42	42					
GK-3009AT		強	11	11.5	48	49	11.0	0.65	0.60	0.45	0.43
		弱	9.5	9.3	44	44					
GK-3012BT		強	11	11.5	48.5	49.5	14.0	0.78	0.72	0.54	0.50
		弱	9.5	9.3	45	45					

8. アフターサービス

アフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口(取付・取扱説明書同封一覧表の最寄りの支社、支店または各地のサービスセンター)へご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの三菱エアーカーテンの補修用性能部品を製造打切後最低6年間まで保有しています。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573-66-2111